



## 社会問題を 英語で発表

全国高校国際シンポ

「全国高校生国際シンポジウム」が12日、

鹿児島市であった。国

際的に活躍できる人材を育てる「スーパーグローバルハイスクール」(SGH)に指定されている甲南高校

(同市)が初めて企画。

県内外から10校約150人が参加し、社会問題について英語で発表し合うなど日頃の学習成果を披露した。写真。

参加10校の大半はSGH指定校。生徒らが交流できる場を設けようと、甲南高校が全国の高校に参加を呼び掛けた。

「高校生にいま必要なこと」をテーマにしたパネルディスカッションでは、大学教授らが「多様な人材が集まる環境に身を置いてほ

しい」「世の中のことに興味を持って探究心を養う姿勢が大事」などと、高校生に外向きの思考を求めた。

高校生による発表もあり、甲南高2年の中村彩夏さんは無線LANサービス「WiFi(ワイファイ)」などを活用した観光強化策を訴えた。中村さんはシンポジウムについて、「全国の同世代の人たちの意見が聞けて刺激になる」と話した。13日は鹿児島大学で東京大学教授らが講演する。(加藤武司)